

私立大学情報教育協会
平成25年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

B-3班 ビーチサンダル

1

発表テーマ

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

2

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割は、

「日本を背負う人材の輩出」

大学の役割を果たすため、大学は何をしなければいけないのかを考え、

社会に必要とされる人材の育成

- ①専門的な知識・能力の修得
- ②人格形成教育

3

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状は？

- ①専門的な知識・能力について
学生のモチベーションが低いため、基礎的な知識の修得ができない。
そのため、発展的な専門的知識の理解が困難な状況にある。
- ②人格形成の教育について
マナーが悪い。主体性に欠ける。教職員と学生のつながりが希薄...
⇒ 大学で“人格形成”の教育がされていない。

この現状を改善するために...

- ①専門的な知識・能力
学生のモチベーションの向上のための施策の実施
- ②人格形成の教育
密接な教職員と学生のコミュニケーション

4

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割や大学の現状を踏まえ、
「学生・教職員のモチベーションの向上」と
「社会から必要とされる人格形成」
が重要と考え...



明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

をテーマとした。

5

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

問題点の深堀

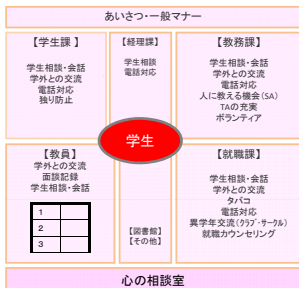
- 専門的な知識・能力を深堀すると...
履修要項がわかりにくい、単位認定の基準が緩い、座学中心で授業が退屈
社会に出てからの実務との結びつきがない(文系)。
- 人格形成の教育について深堀すると...
学生の学内における人間関係の希薄化
⇒ フォローする取り組みが不十分。
教員、事務方の部署間との連携しフォローしていく体制がとれていない。
学生、教職員間の接触機会が少ない。
挨拶ができない、期限を守れない、ポイ捨てなど一般的マナー。

6

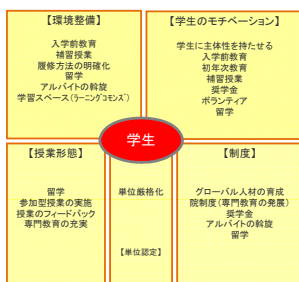
明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

解決策の検討

● 人格形成



● 専門的知識について



7

明日の日本を支える人材育成のために
私たちができること

大学のイノベーションの提案

【提案の概要】

各部署間・教員の連携強化を図り学生カルテを活用した面倒見のいいサービスを行う。

- ・学生カルテの活用
- ・主管部所の設定
- ・職員の役割: 部署間で調整・情報共有
- ・教員への働きかけ: サポートの充実
(例: ヘルプデスク、マニュアル、説明会)
- ・解決策実現のためのハードルと、その打開策:
学生カルテを活用できないものについては個別対応

【運用上の問題】

- ・普及: 学生と教員が使いやすいような仕組みづくり
- ・業務負担: 教務・キャリア他のシステムと連携

「専門的な知識・能力について、学生のモチベーションが低く、基礎的な知識の修得ができない。」
「人格形成の教育について、マナーの悪い学生や主体性に欠ける。教職員と学生のつながりが希薄な学生が増えていく。」

私たちの目的が達成されたら?

学生の人格形成及びモチベーション向上

心と専門知識を身に着けた学生が日本で輝く!